



Vol.8

# 武蔵野三田会会報

発行：2008年10月17日 発行人：内田 勲 編集者：一色 昭吾 〒180-0003武蔵野市吉祥寺南町4-14-6 T/F0422-43-4640

## 創立150周年によせて

武蔵野三田会会長 内田 勲

いよいよ、来る11月8日に、慶應義塾創立150周年を祝う記念式典が、盛大に執り行われます。母校の歴史的一幕に立ち会うことのできるこのイベントを、楽しみにされている方も多いと思います。私もその一人です。今回の記念行事の合言葉は、「未来への先導」です。この言葉の意義について、考えてみたいと思います。

福澤先生の「独立して孤立せず」という言葉があります。これには、世間に迎合することなく、しかし、世間を意識しながら孤立せずに前に進むべきとの、福澤先生のメッセージが込められています。

勇気を持って「未来への先導」を実行する、パイオニア精神が凝縮された一言です。

私は常々、会長を務める横河電機において、「一番の財産は、誰が何と言おうと人財である」（当社では“人材”ではなく、財（たから）の字を用いて“人財”と言います）と、社員に伝えています。

これは当社のみならず、日本はもとよりグローバルな社会においても、同じことだと思います。ご存知のとおり、世界では今、政治、経済、環境など、様々な分野で問題が山積しています。この混乱の中にあっては、真の意味で独立し、孤立はせずに協生ができる人財こそが、何ら動ずることなく問題解決にあたり、未来を切り開くリーダーになっていくのではないかと思うのです。そして、そのような人財を育てていくことが、私の使命だと感じています。

慶應義塾は150年もの間、私学の雄として社会のあらゆる場面で先導役を務めてきました。常にトップを走り続けるということは、並大抵のことではありません。

しかし、「未来への先導」という私達の使命を考えれば、この150年という長い年月も、通過点にしか過ぎないのです。慶應義塾の今後ますますの発展を願ってやみません。



◇実施済

◆予定

### 平成20年度の行事と催し案内

#### ◇第25回武蔵野三田会総会

日時：平成20年5月31日（土）17：30より

場所：吉祥寺東急イン

#### ◇グルメの会

日時：平成20年4月25日（金）17：30分より

場所：吉祥寺「備長八（びんちょうや）分家」

#### ◇平成20年夏の納涼懇親会

日時：平成20年7月19日（金）18：00より

場所：吉祥寺「イジン飯店」

#### ◇はぜ釣り大会

平成20年8月23日（土）

場所：東京湾木更津沖

#### ◇秋のゴルフコンペ

日時：平成20年9月5日（金）9：59スタート

場所：桜ヶ丘カントリークラブ

（春のゴルフコンペ：平成21年3月予定）

#### ◆バス研修旅行

日時：平成20年11月15日（土）

行き先：奥多摩溪谷、吉川英治記念館、玉堂美術館、多摩自慢酒造見学など

#### ◆平成20年度懇親忘年会

日時：平成20年12月6日（土）18：00より

場所：吉祥寺東急イン

#### ◆都内名所巡り

日時：平成20年12月頃（企画中）

行き先：慶應義塾三田キャンパス見学及び周辺名所史跡散策、食事会など

#### ◆囲碁サロン

開催日：毎月第3日曜日13：00より

場所：囲碁クラブ「秀哉」

吉祥寺本町田島ビル3F

各行事予定の詳細は改めてご案内いたします。

各行事に、ご家族お誘い合わせの上、

多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。

## 第25回武蔵野三田会総会

平成20年5月31日吉祥寺東急インで第25回総会を開催。栗生賢一郎塾員センター課長、向井百重三鷹三田会副会長、丸山淑枝杉並三田会事務局長、川合浩一国立三田会副幹事長、高草木嶺夫調布三田会会長

を来賓にお招きして菊池太郎君の司会で開催。

梅川副会長の開会挨拶、塾歌斉唱の後、内田会長の挨拶に引き続き、来賓を代表して栗生課長から塾の近況を交えたご挨拶を頂戴しました。

議事は平成19年度会務報告、平成20年度行事予定、決算報告、監査報告を原案通り承認。



内田会長



栗生塾員センター課長

第2部は三遊亭小円朝師匠の落語を堪能した後懇親会に移りました。

一色副会長の開宴挨拶、小松郁彦幹事の乾杯の後歓談へ。初参加会員の紹介と自己紹介と続きました。

佐藤博信、佐藤邦雄、神尾明子、後藤文夫、坂本量一、佐藤巧一、坂口文健、林健太郎の諸氏が夫々自己紹介。

最後は「若き血」「丘の上」を岡本盛太郎君の指揮で斉唱、佐川正清幹事の手締めで会を閉じました。



三遊亭小円朝師匠



全員肩を組んで「丘の上」斉唱



## 平成20年夏・納涼会



7月19日(土) 午後6時より吉祥寺レンガ館地下の中華料理「イジン飯店」にて、食べ放題、飲み放題の納涼懇親会が行われました。星野高明幹事お勧めの、美味くて安い感激のお店。氏が次々料理を発注、上海料理45品何を食べるか迷うことなく、大勢の会員とビール片手に舌鼓をうちながら談笑、瞬間に2時間強の懇親会が楽しく過ぎて行きました。

## はぜ釣り会



8月23日(土) 深川船宿「富士見」から仕立船を出し、はぜ釣りをしました。地下鉄門前仲町駅に集合、マイクロバスで船宿に到着。午前9時過ぎに出船して、木更津沖で昼食をはさんではぜ釣りをし、その後キス釣りにも挑戦しました。ともにそこそこの釣果でした。日頃あまり釣りに縁の無い方も何人も参加されましたが、皆さん多いに楽しみました。特に昼食の船上での美味しい天麩羅を囲んで、皆で団欒が出来ました。



昼食は船上で揚げたての天麩羅で舌鼓↓



## ゴルフ会



武蔵野三田会ゴルフコンペは昨年の秋、今年の春と2回雨に見舞われ流会となり、3度目の正直ということでやっとお天気に恵まれ、9月5日(金)に久々の開催の運びとなりました。今回は佐藤洋さんのご紹介で桜ヶ丘カントリークラブで4組14名の参加を得て和気藹々のコンペとプレー後の懇親会で楽しい1日を過ごしました。当日の成績は下記のとおりでした。



←右から佐藤洋顧問、優勝の大沢宏一郎さん、準優勝の尾本愛子さん

↓スタート前、全員で記念写真



成績:(敬称略)		OUT	IN	グロス	HDCP	ネット	HDCP
優勝	大沢宏一郎	40	44	84	13	71	10
準優勝	尾本 愛子	55	53	108	36	72	32
3位	鷺田 忠保	42	42	84	10	74	9

次回  
 ベスグロ:大沢宏一郎(84)、鷺田忠保(84)  
 (次回は平成21年3月を予定しておりますので、ご家族ご友人 お誘いあわせの上、お気軽にご参加下さい。お問い合わせ先:次回幹事大沢宏一郎0422-51-3627)

## 囲碁サロン



定例の集いは毎月第3日曜日に碁会所「秀哉」で行われ、その後 対局の興奮を冷ますべくビールで乾杯し、毎度のことですが打上会が盛り上がります。話題は囲碁関連はもとより政治、経済、文芸他多岐に亘り皆さん活発に自論を展開するのが何時ものことです。



熱海合宿での記念撮影

2月の例会の席で偶には合宿をしようという話が突然持ち上がり全員異論無く決定。特に片田江会長が大いに乗り気でした。早速場所は会員の石井芳昭さんの紹介で熱海と決まり、4月26日(土)~27日(日)第1回囲碁会合宿が熱海ニューフジヤホテルで開催されることになりました。当日12時に熱海駅前に集合、昼食もそこそこに対局が開始されました。夕食の宴会も早々に切り上げて翌日の昼迄トーナメント方式で頭が真っ白になる程集中した接戦が続き、佐川正清さん実力通り第1回大会の優勝を飾りました。お酒に温泉で対戦中も和気藹々、満足感のある心地よい疲れを感じ乍ら、現地解散となりました。

これに味をしめ先日の例会で第2回の合宿することに決まり、次こそは優勝と闘志満々の皆様です。腕に自慢のない方でもハンディ戦ですからお気軽に参加されては如何ですか。

(お問い合わせ先:片田江恭輝0422-22-3884)

シベリア寒帯林が危ない  
～ハバロフスク訪問記～

斉藤 猛男 (42法)

私は平成16年4月から20年3月までの4年間「むさしの・多摩・ハバロフスク協会」に勤務し、その間3度ロシア連邦・ハバロフスク地方のハバロフスク市を訪問しました。

最初の訪問は「ハバロフスク冬季体験団」の一員として参加した平成16年12月31日から17年1月3日までの3泊4日の旅でした。

全く初めてのロシア訪問であり、しかも最低気温が零下40度にもなるという極寒の地でもあるので、一抹の不安がいつも脳裏にありました。12月31日午後、ロシア製の古いジェット旅客機は満員の乗客を乗せて、小雪舞う新潟空港を無事に離陸、日本海をほぼ真北に直進し、約2時間後にハバロフスク

空港に到着しました。

飛行機から降りた瞬間、私たちは“シベリアの超低温寒気”に見舞われ、身も心も凍る思いでした。



(極東最大のロシア正教会)

ホテルに到着後、早速最初の訪問先であるロシア人の

家庭に向かいました。市内のほぼ中心にある古い鉄筋コンクリートのアパートの一室で、この家の一家全員が私たちを暖かく歓迎してくれました。奥さんの手料理やウォッカなどの飲み物が沢山あり、ゲームやロシア民謡の合唱でパーティは盛り上がり、ハバロフスクの大晦日とお正月はあっという間に過ぎてしまいました。

後日訪れた私立動物園で見たシベリアの希少動物であるアムール虎や白熊など、また中国との国境を流れ、市内を北上してオホーツク海に注ぐアムール河の氷上散策体験、さらにロシア人の生活ぶり～夏休み中ほとんどの市民が『ダーチャ』という、庭付き一戸建て別荘で野菜や花を栽培しながら優雅に暮らし、冬期には公共の地域暖房により、室内ではTシャツ1枚で快適にすごしていることなど～を見聞できたことにより、私がこれまで抱えてきた偏見が薄らぎ、親近感が湧いてきて、再度この都市を訪れてみたいという感を一層強くしました。



(アムール虎)

第2回目、第3回目の訪問は、平成17年と18年で、いずれも5月の大型連休中です。この訪問の目的は、市の郊外にあるワロニシ地区にある「友好の森」での植林です。私たち植林団の一行と市民との協働でチョウセンゴヨウの苗木を植樹します。ロシア国内には広大な広葉樹や針葉樹の森林が広がり、無尽蔵とも思われる豊富な木材資源に恵まれているのに、“何でいまさら植林”という疑問がありましたが、二回の訪問期間中 現地での植林活動やシベリア寒帯林の視察を通じて、この植林事業の意義と必要性を改めて再認識しました。

平成10年以来毎年1回、植林団が継続してきた「友好の森」のある西シベリアを含め、東・中央シベリアの広大な寒帯林が今重大な環境問題に直面しています。約20年前頃からこの寒帯林に異変が生じ始めました。西シベリアを中心とした大規模な森林伐採が進み、特にこの10年間くらいは中国の特需などによりさらに木材輸出が急増しています。無許可による違法伐採が横行し、さらに自然発生と人為的な原因による山火事が追い打ちをかけ、最近山肌をむき出しにした山火事跡や乱伐により一面根こそぎに伐られて全く樹が生えていない地域が目立つようになってきました。いまや『地域の肺』といわれ、人類の生存に欠かせない存在となっている貴重な寒帯林が危機に瀕しています。この危機を放置すれば、やがては地球規模での気候変動による温暖化現象がさらに加速することになります。シベリア寒帯林にあるマツやモミジなどの針葉樹は成長が遅く、大木になるまでには100年、200年という長い年月を要します。

「むさしの・多摩・ハバロフスク協会」は、ロシアにおけるこのような状況を直視し、これからも寒帯林保全のための活動を継続し、ロシアの人々に「木を植えること」は「シベリア寒帯林を守ることにより、ロシアのひとびとを救うばかりでなく、人類の危機をも救う」という意識改革を訴え、世界に向けて地球保全の意義を発信し、これに纏わる様々な活動を展開しています。



(悲惨な乱伐跡)



## 事務局よりのお知らせ

事務局 〒180-0012 武蔵野市緑町1-3-3

TEL 0422-51-3627 大沢 宏一郎

E-Mail choco@view.ocn.ne.jp

### ●同好会希望アンケート結果

武蔵野三田会にはゴルフ会、囲碁会、バス旅行会、納涼会、などあります。懇親、親睦をより深めるため、さらにどんな新しい同好会の立ち上げを希望されるかをアンケート方式で会員の皆様の意向を尋ねました。(アンケートは5月の総会、7月の納涼会に参加の皆様に配布、回答を頂いたものです)アンケート結果は下記の通りでした。

- |          |    |         |   |
|----------|----|---------|---|
| ①グルメの会   | 14 | ⑥ジャズ同好会 | 8 |
| ②都内名所めぐり | 12 | ⑦旅行会    | 7 |
| ③ハイキング   | 12 | ⑧釣りの会   | 6 |
| ④テニス同好会  | 8  | ⑨英会話    | 6 |
| ⑤落語を楽しむ会 | 8  | ⑩カラオケ同好 | 4 |
|          |    | ⑪ボウリング  | 4 |

上記の他に山登り、原書購読、ジャパントイムスを

読む会、ボランティア活動、料理、園芸ガーデニング、心理研究会、スイス市民交流会などの希望がありました。当件については企画委員会で検討し、担当幹事を決めて可能なものから逐次発足の段取りを進めていく計画です。「釣りの会」は8月に開催、「都内名所巡り」は年内に立ち上げる計画です。各同好会の発足が決まりましたらアンケートで希望された方には改めてご案内します。参加ご希望の方、お手伝い頂ける方は大沢幹事長にお申し出で下されれば幸いです。

### ●武蔵野三田会会員名簿

新規加入、皆様からの返信葉書による異動に基づき、会員の名簿を更新作成致しております。来春配布する予定です。

### ●年会費納入のお願い

未納の方は同封の郵便振込み用紙で年会費納入に本年もご協力下さい。(3,000円/一人)

### 武蔵野三田会 平成19年度 会計報告

平成19年度収支報告

(自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)

収 入		支 出		(参考) 収支差	
項目	金額	項目	金額	項目	金額
年会費 (158名)	476,000	会報発行	△36,232	年会費、寄付	484,000
寄付	8,000	印刷・事務経費	17768	会報発行費	36,232
		広告収入	△54,000		
第23回定時総会・懇親会	462,000	第23回定時総会	573,693	定時総会	111,693
参加会費 (56名)	422,000	会場費用・食事代	410,330		
ご祝儀	40,000	講師御礼通信事務経費	163,363		
忘年懇親会	453,000	忘年懇親会	573,848	忘年懇親会	120,848
参加会費 (57名)	428,000	会場費・食事代	406,960		
ご祝儀	25,000	アトラクション出演費	40,000		
		福引景品代	64,977		
		通信・事務経費・雑費	61,911		
		その他	158,255	その他運営費	158,255
		バス研修旅行通信費	9,345		
		納涼会通信費	18,770		
		近隣三田会費、祝儀	73,570		
		弔慰金、弔電	22,780		
		一般事務文房具他	33,790		
収入合計	1,399,000	支出合計	1,269,564		129,436
前期からの繰越	348,829	次期への繰越	478,265		129,436
総合計	1,747,829	総合計	1,747,829		